

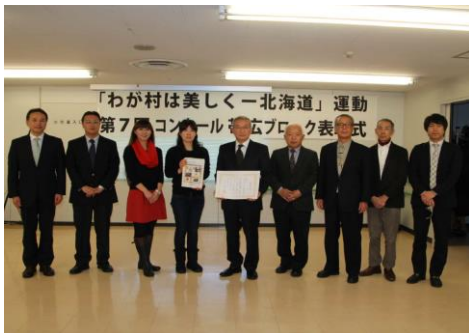
「わが村は美しくー北海道」運動 第7回コンクール

帯広ブロック表彰式及び情報交換会を開催しました

平成27年2月10日(火)帯広市市民活動交流センターにおいて、「わが村は美しくー北海道」運動第7回コンクール帯広ブロックの表彰式を開催しました。

冒頭で、帯広開発建設部の三木次長から開催挨拶、続いて、帯広ブロック審査委員長の帯広畜産大学 宗岡准教授からコンクール表彰団体を決定するに至った経緯を述べて頂きました。

今回のコンクールで賞に輝いたのは、優秀賞に『十勝中札内ファーム街道委員会(中札内村)』、『ピロロフェス実行委員会(広尾町)』の2団体、奨励賞に『帯広農業高等学校農産加工分会ビネガー班(帯広市)』、『とち酒文化再現プロジェクト(音更町)』、『ペケレベツ情熱会議(清水町)』、『二宮郷土芸能保存会(豊頃町)』の4団体で、帯広開発建設部の三木次長より表彰状が授与されました。



十勝中札内ファーム街道のみなさんと
三木次長(左)



帯広畜産大学 宗岡准教授

表彰式終了後は、前回も行った「ワールド・カフェ」という方式を用いた情報交換会を開催し、十勝管内の参加団体やブロック審査委員など31名が参加しました。

情報交換会では、4~5人ずつ4グループに分かれ、「わが村の自慢」をテーマに話し合い、20分間のラウンドごとにメンバーチェンジをして3回のラウンドを行いました。

自分たちの活動を紹介しながら、地域の魅力や十勝の特色などについて話し合い、地域を守るためにそれぞれの活動を後生に伝えていく必要性や、他町村との連携の重要性などを語る姿が見られ、予定時間をオーバーするほど活発な意見交換が行われました。

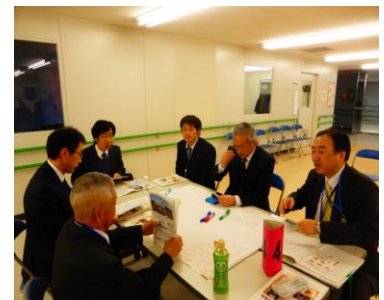
今後もこのような会を継続的に開催して、団体間の交流の場を提供していく必要性を感じました。



農業・商業・行政など、様々な方々にご参加いただきました



思い思いのディスプレイで団体の活動をPRしました



古くからの伝統など、活発な意見が出されました